

平成 25 年度 第 1 回 倉吉市地域公共交通会議 議事録

日時：平成 25 年 8 月 5 日（月）13：30～14：30

会場：倉吉市役所 大会議室

1. 開会

(事務局)

委員 19 名に対して 15 名の出席。倉吉市地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項の規定による会議の開催要件の過半数を満たしていることを報告。

また、倉吉市地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 4 項の規定により、原則公開となっていることを説明。

委員の交代について報告。新しい委員は以下のとおり。

倉吉市 片山委員

日ノ丸自動車株式会社倉吉営業所 福永委員

鳥取県ハイヤータクシー協会 山根委員

中部地区高等学校 PTA 連合会 米増委員

2. あいさつ

(羽根田会長)

本日はお忙しい中、そして暑い中、倉吉市地域公共交通会議に出席いただき、誠にありがとうございます。さて、本日の協議内容は、10 月から実証運行の開始を予定している「広瀬線のデマンド運行について」であります。また、報告事項としまして、「北谷線の一部ダイヤ改正について」、「秋喜新町バス停 新設について」、「単市バス路線に係る運行形態見直し状況について」のご報告がございます。

私たちの生活に必要な公共交通に関する各事業の内容をご確認いただき、皆様に活発なご意見等をいただければと思いますので、よろしくお祈いします。

以上です。

3. 協議事項

※倉吉市地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 1 項の規定により会長が進行。

(説明)

「協議事項(1) 広瀬線 デマンド運行について」説明。資料 1～資料 3-2 を参照。

朝 2 便を除き、岩倉から広瀬までの区間がすべてデマンド運行になる。基本的には大宮止めになり、上り便については電話で予約をしていただくと、岩倉より南の停留所まで運行する。下り便については大宮までに乗っていただければそのまま運行する。これまで大宮止めだった便についても必要があれば広瀬まで運行するようになるので、その分は利用者の方にとっては利便性が上がる。

(意見・質問)

委員：デマンド運行を開始するにあたって経費は削減されるのか、増大するのか。

事務局：削減になる。削減額は2百万円弱を見込んでいる。

委員：チラシを作るということだが、市民への周知はどのように行うのか。

事務局：9月号の市報に掲載を予定しており、全体的な周知をはかる。また、資料3-1、資料3-2として掲載している原稿を両面印刷してチラシを作成し、地元にかがって改めてご説明するとともに、広瀬・岩倉の地域の方にチラシを配付する。また、バス事業者からは、バス停やバス車内への掲示を行う。

委員：予約については「2時間前まで」とはあるが、「いつから」かがわからない。いつから可能なのか。

事務局：いつから予約が可能かについては特に決まりはない。早い時期に予約していただいてもいいが、その場合は忘れずに乗車していただきたい。

委員：デマンドの対象になるバスの利用は高齢の方が多い。そのため、高齢の方への周知を徹底していただきたい。一度スムーズに予約できれば、習慣となって次からはうまくいくと思う。はじめが肝心なので、しっかり説明してほしいと思う。

委員：時刻表で※がついている便については増便になるということか。

事務局：そのとおり。

委員：それは便利になっていいと思う。「土日」と書いてあるのは土日運休ということか。

事務局：そのとおり。

委員：土日が運休なのは残念に思う。

事務局：バスは、病院に通うのに利用される方が多い。そのため、病院が休みになる土日には便数が少なくなる。

会長：その他、特にないようなので協議事項(1) 広瀬線 デマンド運行についてはご了承いただけるか。

(特に意見なし 承認)

4. 報告事項

(説明)

「報告事項(1)北谷線 一部ダイヤ改正について」説明。資料4、資料5を参照。

利用のない朝の便を廃止し、代わりに最終便としてこれまでよりも遅い便を新設することで利用者の増をはかる。新設する中野発の便は農高生からの要望を受けたもの。部活を終えて駅に帰るのに今より遅い便がほしいという要望があった。

(意見・質問)

委員：公民館への周知はできているのか。

委員(日ノ丸自動車)

：公民館長へは説明した。8月の会合で館長から話をしてもらうことになっている。社公民館長へも説明済み。加えて、廃止を予定している海田車庫6:40発の便の利用状況に

ついて報告する。毎年5月ごろに乗降調査を行うが、H21年度からH25年度までの5年間で利用は2名。H23年度に2名利用があり、1名は「総合事務所前」から「西倉吉」まで、もう1名は「昭和町」から「西倉吉」まで利用されている。残念ながら利用はほとんどない。

委員：参考までに教えていただきたいが、倉吉駅の始発は何時か。

委員（日本交通）
： 6時30分

委員（日ノ丸自動車）
： 6時35分

委員：始発についても、朝早く汽車で駅に着いてもそこからの移動ができない、という実態がある。

会長：その他、意見がないようであれば、報告事項(1)北谷線 一部ダイヤ改正については以上でよいか。

（特に意見なし）

（説明）

「報告事項(2)秋喜新町バス停 新設について」説明。資料6、資料7を参照。

秋喜新町は新興住宅街であり、バスの利用者が増えているが、最寄りのバス停までの距離が遠いため、新設の要望があった。

（意見・質問）

委員：バス停の移動ではなく、新しく追加になるようだが、バス停の間隔には決まりがあるのか。

事務局：調べる限りでは特に決まりはないよう。

委員：バス停を新設するにあたっては何が必要で、どういう経過で新設できるのか教えていただきたい。

委員（日ノ丸自動車）
：地元からの要望があって、それを受けて事業者が設置を検討する。設置場所については警察の立ち会いのもとで決める。

委員（倉吉警察署）
：横断歩道や交差点との距離を考慮して安全を確認している。

委員（日ノ丸自動車）
：お盆までに公安委員会に現場に確認していただきたいと考えている。

委員：設置を予定されているところは働く場所や住宅が密集しているところであり、バス停が必要な場所だと思う。

委員（日ノ丸自動車）
：バス停の設置には費用がかかるが、利便性を高めるよう、設置に向けて進めていきたい。

委員（倉吉河川国道事務所）

：県道であるので、県の道路管理者との協議も必要。新しくバス停を設置することで、事故も増える。停車しているバスの周辺は見通しが悪く、また、バスから下車した人が道路を横断するなど、事故が発生しやすくなる。便利になるといっても、事故が起こらないよう十分に確認をとっていただきたい。

会長：その他、意見がないようであれば、報告事項(2)秋喜新町バス停 新設については以上でよいか。

（特に意見なし）

（説明）

「報告事項(3) 単市バス路線に係る運行形態見直し状況について」説明。資料はなし。

北谷線、高城線について見直しをはかっているところ。

NPO たかしろさんが高城地区内で過疎地有償運送に取り組まれているので、そちらと協議をしながら、どういった運行形態がいいか北谷地区を含めたところで検討してきたが、北谷地区内での過疎地有償運送は難しい状況。事務局では、デマンドバスやデマンドタクシーなど、乗り合い型の新しい運行形態ができないだろうかと考えてはいるが、具体的な案ができておらず、地元にはまだ提案できていない。そうした中で、先月、デマンドバスを導入している総社市に視察に行ったところなので、そちらの運行システムを参考にしながら、利便性を落とさない運行形態を考えていきたい。

また、北谷、高城については小学校、保育園の統合・再編についての議論もあるが、あくまでこれは公共交通の範疇で、見直しを進めていきたい。今後、具体策ができれば改めて皆さんにお諮りしたいと考えている。

会長：今後検討課題ということだが、意見がないようであれば、報告事項(3) 単市バス路線に係る運行形態見直し状況については以上でよいか。

（特に意見なし）

5. その他

（意見・質問）

委員：単市バス路線の見直しに関してお願いだが、駅北循環バスを、形を変えてでもいいので再開してほしい。河北小学校あたりの団地には高齢者の方が多く住まわれているので、バスがなくなって不便という声を聞く。また、伯耆しあわせの郷を利用される方が多いので、農高や上北条、駅を通るような循環バスがほしい。

委員：便の増減やダイヤ改正に関して、移動される方のニーズをどのような形で把握されているのか。路線の見直しなどに関して公民館で同意をとっているようだが、それだけでいいものか。

委員：バスの運行に対しては、中山間地と街中では全く感覚が違うと思う。中山間地では地域の問題になるが、街中ではバスが通っていて当たり前という感覚がある。1人1人の意

見を収集するのは難しいところ。だからどうしても公民館なり地域の組織でとりまとめる必要が出てくる。

委員：公民館で意見をまとめる必要があるのはわかるが、公民館で意見を集約する役をされている方は、バスを利用する必要のない若い健康な方が多い。そのため公民館を通すとうまく伝わらないこともある。公民館以外の諸団体でも意見を聞いてもらいたいと思うことがある。

委員：先日、県外から来られた方が、駅までのバスがなく困っておられたことがある。最終便を過ぎていたため結局歩いて駅に向かわれた。今回の報告の中で、駅行き最終便がさらに遅い時間になると聞き、これはよかったと思っているところだが、こういう場合の、最終便を遅らせてほしいなどの意見を、どこに持って行ったらいいのかわからない。

委員（日ノ丸自動車）

：バス事業者としては、乗務員を通してお客様の声を聞く機会を設けている。秋喜新町のバス停設置についても元々は利用者の方から乗務員へ要望があり、提案したもの。

委員：公共交通というだけあって公共性が一番大切だとは思いますが、交通に対して自分たちの気持ちをどうやって反映させるか手段さえも知らず、日頃つぶやいているだけで、市民レベルで終わってしまっているのだろうな、と思うことがある。

委員：ちなみに、鳥取市の循環バス「くる梨」はどれくらいの経費がかかっているのか。参考にすれば、上北条をまわる循環バスのようないい案ができるのではないかと考えるが。

事務局：鳥取市は3コース（赤・青・緑）走らせている。緑コースを新しく作ったが、それによって青コースの利用が減るなど、全体での利用者数は大体決まっているよう。経費については把握していないが、おとし、昨年と倉吉市で実施した駅北循環バスについては、利用が多いと思われるコースを走らせても総額10,000千円程度かかっているの、1コース走らせるのにそれぐらにかかるとは思っていないかと考えている。

会長：その他、事務局の方で何かあるか。

→事務局より「広瀬線のデマンド運行」に係る合意書（案）配布。

（説明）

ただいまお手元にお配りしたのは、本日協議していただいた「広瀬線のデマンド運行」について、事業者が鳥取運輸支局へ申請時に添付する必要がある本協議会の合意書（案）であり、同意いただければ日本交通株式会社にお送りする。

会長：合意書（案）について、質問等はあるか。

（特に意見なし）

事務局：ありがとうございます。

(説明)

もう1件、県が手話通訳にかかる条例を作ろうと考えているが、その関係でお伺いしたいことがある。バスの遅延情報について、鳥取駅・米子駅では、バスセンターに掲示されているようだが、倉吉駅では掲示する環境が整っていない状況。そこで、遅延情報を提供するための手段として、どのような方法があるか、ご提案いただきたい。駅付近であれば観光案内所や高速バスの受付センターがあるので、そちらで掲示をお願いするのがいいかと思うが、もし、何かほかにもいいアイデアがあれば、後日でもいいのでご提案いただければと思う。

6. 閉会

(羽根田会長)

本日は身近な公共交通事業に係る協議をいただきましたが、今後も住民の移動手段である公共交通の確保は本当に重要な課題であります。本協議会は倉吉市の公共交通に関する審議機関でありますので、利用者の方の意見を代弁すべく、今後も課題意識を持った話し合いとなるよう、皆様にご協力をお願いしたいと思っています。今後とも、倉吉市の利便性の高い公共交通ネットワークの確立に向けて皆様のご意見をいただきますようお願い申し上げます。

それでは、閉会したいと思います。

本日はありがとうございました。